

国語科の学習について

4年生の国語科の目標

相手や目的に応じて、調べたことなどについて、筋道を立てて話すことや話の中心に気をつけて聞くことができるようにし、進んで話し合おうとする態度を育てます。

相手や目的に応じて、調べたことなどが伝わるように、段落と段落の関係などに注意して文章を書いたり、工夫しながら書こうとする態度を育てます。

目的に応じて、内容の中心をとらえたり、段落と段落の関係を考えたりしながら読むことができるようにし、幅広く読書しようとする態度を育てます。

1年間の学習内容

	学習する教材名	おもな学習内容
一 学 期	春のうた 白いぼうし 漢字の組み立て 漢字辞典の使い方 よりよい話し合いをしよう 大きな力を出す 動いて、考えて、また動く 新聞を作ろう 一つの花 自分の考えをつたえるには 本は友達	<ul style="list-style-type: none"> 言葉のリズムを楽しみながら声に出して読んだり、場面の様子を想像したりしながら読みます。 作品からうけるおもしろさを感じながら、場面の情景を想像して読み、自分の感想をまとめます。 部首について学習します。 漢字辞典の引き方を学習します。 よりよい話し合いの仕方について考え、学級全体で話し合って考えをまとめます。 事実と意見の関係、段落相互の関係をとりえ、筆者の考えを読み取る方法を学習します。 新聞の特徴と作り方を学習します。 題名にこめられた作者の思いについて考えたり、登場人物や場面の様子を、作品の大事な言葉に気をつけて想像しながら読みとったりします。 書こうとすることの中心を明確にし意見文を書きます。 いろいろな本や文章を目的に応じた読み方で読むことができるように学習します。
二 学 期	だれもがかかわり合えるように ごんぎつね アップとルーズで伝える 「クラブ活動リーフレット」を作ろう	<ul style="list-style-type: none"> 伝え合い、分かり合うには、いろいろな方法があることを知り、調べたりまとめたりしたものを聞き手に分かりやすく伝える学習をします。 登場人物や場面の様子を、作品の大事な言葉に気をつけて想像しながら読みとります。 伝える目的や相手に応じて、情報の材料や選び方や表現方法が異なることを学習します。 書こうとすることの中心を明確にして写真と文章を対応させながら文章を書きます。

	<p>プラタナスの木</p> <p>文と文をつなぐ言葉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・場面の情景や登場人物の気持ちを想像しながら読み、感想をまとめます。 ・文と文の意味のつながりを考えながら、接続詞を使うことができるようにします。
三 学 期	<p>のはらうた</p> <p>野原に集まれ</p> <p>ウナギのなぞを追って</p> <p>聞き取りメモの工夫</p> <p>わたしの研究レポート</p> <p>初雪のふる日</p> <p>十年後のわたしへ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの詩のおもしろさについて話し合います。 ・想像したことをもとに、詩を書きます。 ・科学読み物を読みます。読んだ本を、文章を要約したり引用したりして紹介します。 ・自分にとって大切な情報は何かを考えながら聞く方法を学習します。 ・本で調べた事を報告する文章を書きます。 ・場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の気持ちの変化や情景を読み取ります。 ・これまでの10年間を振り返りまた、これからの10年間を想像して自分に手紙を書きます。

家庭へのお願い

- 文書をすらすら読めることが、正しい理解につながります。教材文をくり返し読んだり、読書の習慣をつけたりすることがとても役に立ちます。ご家庭でも読書の習慣づくりにご協力をお願いします。
- 漢字学習は、漢字の意味や成り立ち、書き順などを学習した後は、くり返していねいに書いて覚えることがとても大切です。家庭でも漢字を練習する日が多くあると思いますが、ていねいに正しく書けるよう、ご協力をお願いします。
- 話す・聞く力は日常の生活の中で身につきます。相手を大切にし、伝えたいことが伝わるような話し方、話の中心をとらえる聞き力が身につくよう、ご協力をお願いします。
- 国語辞典や漢字辞典を引く習慣がつくように、ご家庭でも用意をしてください。繰り返し辞書を引くことで、辞書の引き方を身につけられるよう、ご協力をお願いします。